

市長公室 平成30年度 局運営方針（案）

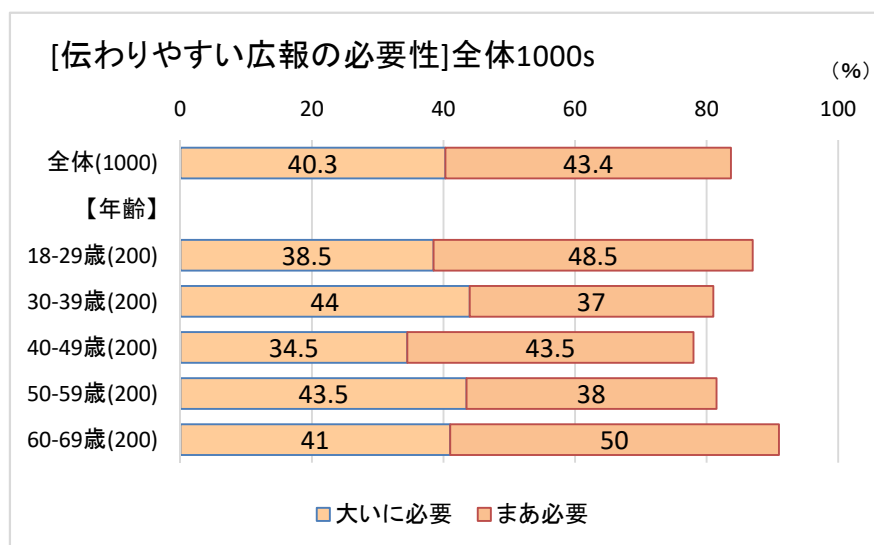
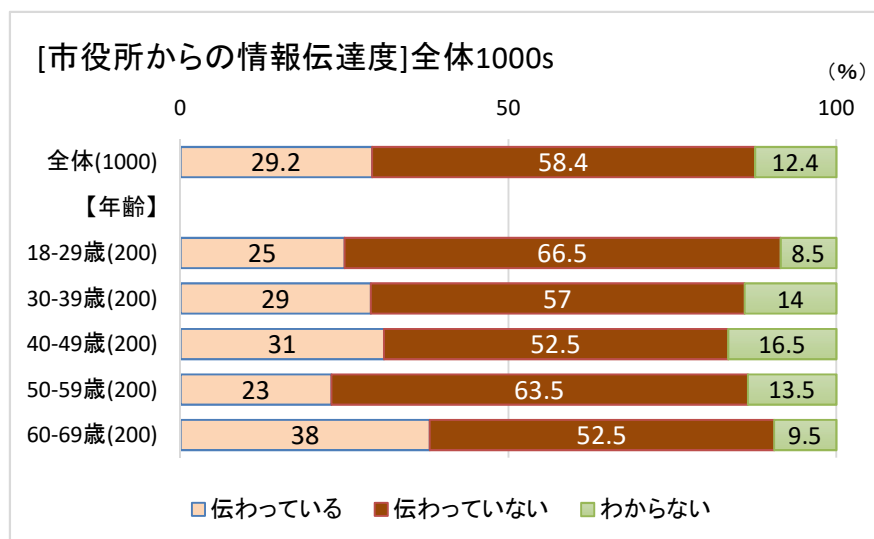
1. 主な現状と課題

市民意識が成熟し、市民の行政ニーズが複雑・多様化する中、情報発信・受信による市民との良好な関係づくりが、重要性を増しており、施策に対する市民の関心を高め、市民の理解・共感を得ることは、施策展開の円滑化と効率化のために不可欠となっています。

また、市民ニーズの多様化が進む中、市に寄せられる市民の声を一元管理して、市政への反映を図るとともに、市民の声の反映結果を分かりやすく市民に伝えることが求められています。

（1）効率的・効果的な情報発信

市民は、より多くの情報提供を期待し、効果的な媒体を求めています。



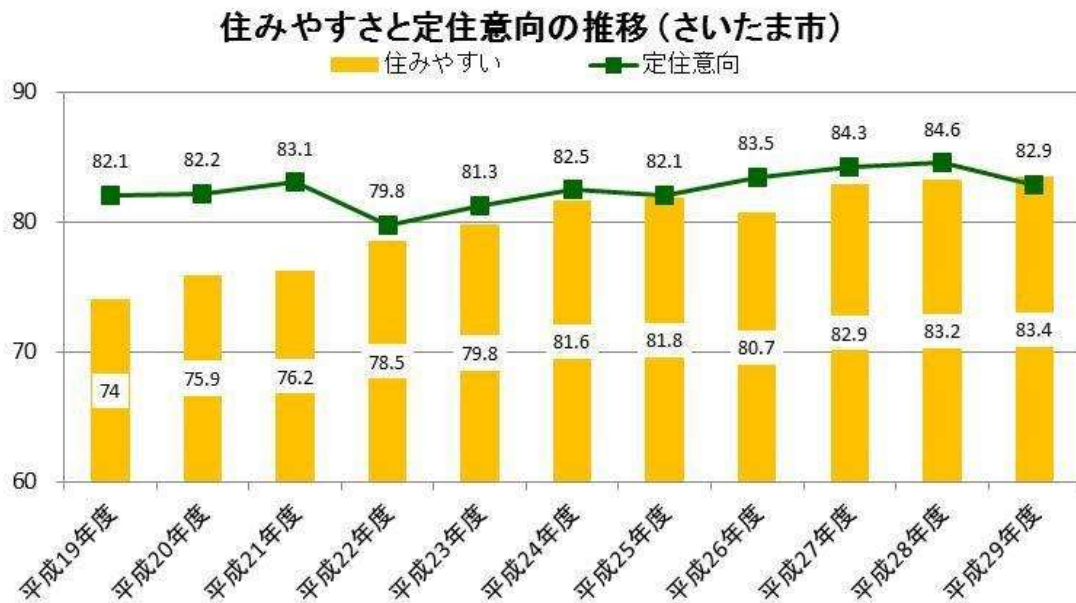
* いずれも平成29年11月実施「インターネット市民意識調査」(さいたま市民1000s)。

(2) 市民意識の把握

「市民満足度」向上のためには、施策への要望や市のイメージなどについて、幅広く市民の意識を把握することが重要です。また、取組の成果を測る指標として、「住みやすさ」や「定住意向」の市民意識を調査します。

平成29年度の調査における「市民から見たさいたま市の住みやすさ」は83.4%、「定住意向」は82.9%で、ともに8割を超える高い水準で推移しています。

[住みやすさと定住意向の推移]



* 平成19～29年度実施「さいたま市民意識調査」(さいたま市民が対象)

(3) 市民の声を市政への反映

わたしの提案をはじめ様々な機会を通じ、市民の声が寄せられています。

平成28年度に寄せられた市民の声

事業名	件数
わたしの提案	1,796件
陳情・要望等	210件
子どもの提案	117件
タウンミーティング	285件
所管課受付対応	550件
合計	2,958件

2. 基本方針・区別主要事業

市長・副市長のトップマネジメントをサポートします。

情報発信を効率的・効果的に行い、市の施策や事業に対する市民の関心を高め、市民の理解・共感を得るとともに、さいたま市の魅力を発信し、市内外にアピールしていきます。

市民の声を一元管理して、市政への反映を図るとともに、反映結果を分かりやすく市民に伝えていきます。

(1) 市長・副市長の日程調整等秘書業務を行います。

* () 内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
1		秘書事務事業 〔秘書課〕	13,014 (13,014)	12,769 (12,769)	市長・副市長のトップマネジメントをサポートし、随行業務・日程管理等を効率的に実施
2		表彰事業 〔秘書課〕	3,490 (3,490)	3,516 (3,516)	市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々を表彰
3		市長交際費 〔秘書課〕	2,500 (2,500)	2,700 (2,700)	市長が市を代表して行う外部との交渉に要する経費

(2) 多様な情報発信媒体を活用します。

* () 内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
4		市報さいたまの発行 〔広報課〕	188,021 (177,119)	184,973 (174,568)	市の施策や行事等の市政情報を掲載する広報紙を編集し、毎月1日に発行して、全世帯に配布
5	拡大	公式ホームページの運用 〔広報課〕	17,135 (11,735)	10,872 (5,472)	ホームページで市政情報や市の魅力等を発信
6		テレビ広報番組の制作 〔広報課〕	31,932 (31,932)	31,709 (31,709)	テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」等を制作し、テレビ埼玉で放送するとともに、過去放送分をインターネットで映像配信
7	拡大 倍増	新たな情報発信媒体を活用した効果的な広報 〔広報課〕	2,131 (2,131)	1,275 (1,275)	専門家の知見を活用し、職員の情報発信力を向上
8		定例記者会見の情報発信 〔広報課〕	5,516 (5,516)	5,639 (5,639)	市長の定例記者会見をインターネットで動画配信

〔区分〕 新規 … 新規事業 拡大 … 拡大事業 総振 … 総合振興計画後期基本計画次期実施計画事業
 倍増 … しあわせ倍増プラン2017事業 成長 … 成長加速化戦略事業 創生 … まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

(3) 市民の声の市政への反映を進めます。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
9	倍増	タウンミーティングの 開催 〔広聴課〕	789 (789)	774 (774)	市民と市長が直接対話する機会として開催 公募と併せて「無作為抽出」の手法を採用し たタウンミーティングを実施
10	倍増	市民意識調査の実施 〔広聴課〕	6,070 (6,070)	5,940 (5,940)	市政に関する市民意識を把握し、施策の立 案・実施等に活用するため、郵送及びイン ターネットによるアンケート調査を実施
11	倍増	市民の声データベース システムの運用 〔広聴課〕	36,300 (36,300)	66,011 (66,011)	市民の声を集約して市政への反映を図るため のデータベースシステムの運用
12		コールセンター運営事 業 〔広聴課〕	105,883 (105,883)	84,543 (84,543)	本庁及び各区の代表電話とコールセンターを 順次統合し、電話問合せ窓口の一本化を図る コールセンター運營業務

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業
倍増…しあわせ倍増プラン2017事業

総振…総合振興計画後期基本計画次期実施計画事業
成長…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
秘書課	消耗品等諸経費の見直し	消耗品等諸経費を見直すことで、予算額を縮小する。	△ 398
秘書課	市長交際費の見直し	過去の実績に基づき、予算額を縮小する。	△ 200
広報課	新聞など広告	広告の掲載紙や掲載数を見直すことで、予算額を縮小する。	△ 821
広報課	市長記者会見録音翻訳料の削減	臨時記者会見の回数を実績を踏まえて見直すことで、予算額を縮小する。	△ 123
広報課	ガイドマップの見直し	転入者向けガイドブックに全市の概要マップを併せて掲載することで、予算額を縮小する。	△ 1,859
広聴課	消耗品等諸経費の見直し	消耗品等諸経費を見直すことで、予算額を縮小する。	△ 92

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 秘書事務事業		予算額	19,004
局/部/課	市長公室/秘書課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/1目 一般管理費	予算書 P. 79	- 一般財源 19,004
<事業の目的・内容> 市長・副市長の日程の調整を中心とした秘書業務を行うとともに、市長が市を代表して行う活動の支援を行います。また、市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々に対する表彰を行います。		前年度予算額	18,985
		増減	19
<主な事業>			
1 秘書事務事業	13,014		
市長・副市長のトップマネジメントをサポートし、随行業務及び日程管理等を効率的に行うとともに、意思表明に必要な情報を適切に管理します。			
2 表彰事業	3,490		
市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々に対して表彰を行います。			
3 市長交際費	2,500		
市政の円滑な運営を図るため、市長が市を代表して行う外部との交渉に要する経費として支出します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 広報事業		予算額	265,304
局/部/課	市長公室/広報課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書 P. 83	17款 国庫支出金 3,301
<事業の目的・内容> 広報紙「市報さいたま」、公式ホームページ、テレビ広報番組をはじめとした様々な広報媒体や手法を活用して、積極的に情報発信します。また、「さいたま市PRマスタープラン」に基づき、戦略的な広報活動を行い、施策や事業に対する市民の関心を高め、市民の理解・共感を得ます。		18款 県支出金 1,650	19款 財産収入 524
			23款 諸収入 16,300
			- 一般財源 243,529
		前年度予算額	259,925
		増減	5,379
<主な事業>			
1 市報さいたまの発行	188,021	4 新たな情報発信媒体を活用した効果的な広報	2,131
市の施策や行事等の市政情報を掲載する広報紙を編集し、毎月1日に発行して、全世帯に配布します。		専門家の知見をさらに活用し、既存の情報発信手法の見直しを行い、職員の情報発信力を向上させます。	
2 公式ホームページの運用	17,135	5 定例記者会見の情報発信	5,516
ホームページで市政情報や市の魅力等を発信します。		市長の記者会見について広く市民などの視聴に供するため、インターネットによるライブ中継・録画配信等を行います。	
3 テレビ広報番組の制作	31,932	6 広報事業その他	20,569
テレビ広報番組「のびのびシティ さいたま市」等を作り、テレビ埼玉で放送するとともに、過去放送分をインターネットで映像配信します。		FMラジオ、グラフ誌版広報誌、SNS、メールマガジン、出前講座等の各種媒体の活用や情報発信アドバイザー（非常勤職員）の設置により、市政情報や市の魅力等の発信とその活性化を行います。	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 NHK大型公開番組等開催事業		予算額	1,420
局/部/課	市長公室/広報課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	- 一般財源	1,420
<事業の目的・内容> 地域の文化振興と市民福祉の向上を図るとともに、市内外に向けて本市をアピールするため、NHKさいたま放送局及び埼玉県産業文化センターとの共催により、学校音楽コンクールを開催します。		前年度予算額	1,420
		増減	0
<主な事業>			
1 NHK全国学校音楽コンクール		1,420	
合唱を通して児童・生徒の健全な成長と豊かな感性を育てるため、全国学校音楽コンクール埼玉県コンクール及び関東甲信越ブロックコンクールを大宮ソニックシティ大ホールで開催します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 広聴事業		予算額	43,787
局/部/課	市長公室/広聴課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	- 一般財源	43,787
<事業の目的・内容> 広く市民の声を聴取し、市民参加の市政を推進するために、市長への提案制度、タウンミーティング、市民意識調査、パブリック・コメントなどの広聴事業を行います。		前年度予算額	73,429
<特記事項> 平成29年度に市民の声データベースシステムを再構築しました。		増減	△ 29,642
<主な事業>			
1 市民の声データベースシステムの運用		36,300	4 市民意識調査の実施
市民の声を一元的に管理し、市政へ反映するため、市民の声データベースシステムを運用します。			6,070
市民に関する市民意識を把握し、施策の立案・実施等に活用するため、郵送及びインターネットによるアンケート調査を行います。			
2 タウンミーティングの開催		789	5 パブリック・コメント手続の支援
市民と市長が直接対話する機会として、タウンミーティングを開催します。参加者は公募に加え、無作為抽出の手法により募集する「市民の声モニター制度」を活用します。			93
パブリック・コメント制度に基づく意見を提出しやすくするための専用封筒を作成・配置します。また、制度に対する職員の理解を深めるための研修を実施します。			
3 市長への提案制度の実施		295	6 子どもからの意見募集
市民意見を市政へ反映するため、公共施設等に配置した専用封筒、FAX及び電子メールにより市民から市政に対する意見・要望等を聴取し、傾向を把握します。			240
子どもからの意見を市政へ反映するため、市内の中学校に配置した専用封筒により、子どもたちから「テーマ」に沿った意見を募集します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 コールセンター運営事業		予算額	105,883
局/部/課	市長公室/広聴課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書 P. 83	- 一般財源 105,883
<事業の目的・内容> 本庁及び区代表電話を含めた市民からの問合せ等に対して1つの窓口で迅速かつ責任ある対応を行うとともに、市政への要望等を的確に把握し、市民サービスの向上を図ることを目的としたコールセンターを運営します。		前年度予算額	84,543
		増減	21,340
<主な事業>			
1 コールセンターの運営	105,710	[参考]	
本庁及び区代表電話を含めた市民からの電話、FAX及び電子メールによる問合せ等に対する回答や対応記録の蓄積、イベント等の予約受付業務について、専門のオペレーターが対応するコールセンターを運営します。		【開設時間等】	
		年中無休	
		電話 8時～21時受付・対応	
		FAX・電子メール 24時間受付（対応は8時～21時）	
2 コールセンターの周知	173		
市民周知のためのチラシ等を作成・配置します。			